

1. 件名：「伊方発電所の地震等に係る新基準適合性審査（標準応答スペクトルの規制への取り入れに係る変更）に関する事業者ヒアリング(3)」

2. 日時：令和4年4月4日（月）13時30分～14時25分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁 原子力規制部 地震・津波審査部門

岩田安全管理調査官、三井上席安全審査官、佐藤主任安全審査官、中村主任安全審査官、永井主任安全審査官、大井安全審査専門職、松末技術参与

原子力規制庁 技術基盤グループ 地震・津波研究部門

呉 地震・津波政策研究官

四国電力株式会社：土木建築部 副部長 他10名※

東京支社 技術課 副長 他2名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・資料1-1 伊方発電所3号炉 震源を特定せず策定する地震動—標準応答スペクトルを考慮した地震動評価—（コメント回答）
- ・資料1-2 伊方発電所3号炉 震源を特定せず策定する地震動—標準応答スペクトルを考慮した地震動評価—〈補足説明資料〉
- ・資料2 伊方発電所3号炉 震源を特定せず策定する地震動（標準応答スペクトル）を踏まえた基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価（今後のスケジュール案）

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	いただきましたコメント2件に関する回答を用意いたしておりますので資料を用いて説明いたします。それでは担当者より説明してます。
0:00:11	四国電力の塩田です。それでは説明を始めます。
0:00:15	資料は3部準備してございまして、資料1-11-2が基準地震動に関わる内容、資料2が、
0:00:23	基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価に関わる内容になります。
0:00:27	まず、資料1-1、1-2についてご説明を申し上げます。
0:00:32	資料1-1がいわゆる本体資料のようなもので1-2がその補足説明資料ということで資料、二つ準備をしております。
0:00:41	資料1-1の1ページ目をお開きください。
0:00:51	資料1-1の1ページ目、こちらが前回の会合でいただいたコメントになります。
0:00:57	フランス位相を用いた模擬ジハンについてのダイエットRに基づく振幅包絡線の設定諸元として、地震規模を四捨五入してM6.9とするのではなく、保守的な評価の観点からM7とした場合の評価結果を示す。
0:01:10	もう1点が、伊方発電所の解放基盤表面の位置、深さが浅くかつ、S波速度が2600と地震基盤相当面の定義で主に1200埋まっていることを踏まえれば、
0:01:20	地震伝播特性の影響を考慮するために観測記録の位相を用いる必要はないため、
0:01:25	観測位相を用いた模擬地震はとして検討した佐藤岡崎2013による群遅延時間を考慮した模擬時は参考程度の位置付けとし、
0:01:33	ダンス位相を用いた模擬地震は主たる検討として、資料構成を見直すことという2点のコメントをいただいております。
0:01:40	以降これらについてご説明いたしますが、ほとんどが9月10日の第1回の会合資料ないしは1月14日の2回、第2回の会合資料の再掲でありまして、
0:01:52	主な修正点といたしましては一つ目のコメント欄水槽はの変更となっておりますので、愛子この変更点を中心にご説明を申し上げたいと思います。
0:02:03	2ページをお開きください。
0:02:06	こちらがまず本体資料の目次になります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:09	一緒にショーワ規則とかガイドでの要求、あとは、伊方の解放基盤表面というのが地震基盤面に相当するので、標準応答スペクトルをそのままS sに採用しますと。
0:02:20	ということで1回目の会合資料と同じ内容になります。
0:02:23	その上で参照m、模擬地震はの作成とありますがこの3.1章のLAN水槽を用いた模擬地震はというところが、
0:02:31	一つ目のコメントを踏まえまして、新保小浦線の諸元をマグニチュード7に変更して再作成したのになります。
0:02:39	3ポツには、伊方発電所及び伊方ゼンショー周辺での記録を確認。
0:02:44	明日、資料、
0:02:46	3ポツ3が伊方発電所の解放基盤表面の状況を踏まえて、LAN水槽は
0:02:52	S sとして採用しますというようことを書いたのになります。
0:02:56	ちょっと飛びますが11ページをお開きください。
0:03:04	PDが、模擬地震は、の検討の検討概要ということで一応結論部分までを先出したような、資料になります。
0:03:13	上の箱書きですがごめんなさい、衛藤丸野。
0:03:17	北井ですが、審査ガイドでは、模擬地震版の作成に関して、下記に例示する複数の方法による検討が要求されているということで、一つ目が、乱数位相を用いた模擬地震は、
0:03:27	二つ目が実観測記録の位相を用いた模擬地震は、ということでこれらが例示をされています。
0:03:33	一方で伊方発電所の解放基盤表面は、敷地の標高位置、EL10メートルで定義されており位置が浅いととも、せん断速度が2600と地震基盤相当面の定義である2200を上回っており、
0:03:45	地震基盤相当面とみなすことができ、
0:03:47	地震基盤相当面から解放基盤表面までの伝播特性の影響を考慮する必要がないサイトである。
0:03:54	以上を踏まえ、伊勢さんの3の模擬地震は、
0:03:57	伊方発電所において、模擬地震作成に用いることが可能な観測記録の有無について確認をした上で、
0:04:04	の場合と手法に基づき作成した乱数位相を用いた模擬時はを採用するということで移行資料をつけております。
0:04:13	13ページをお開きください。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:18	こちらがL A N水槽を用いた模擬地震はの、再作成ということで、一つ目のコメント大会等に対応いたします。
0:04:25	檀水槽を用いた模擬地震はは、野田S Rに基づいて、新保後楽園のケージ変化を設定してございまして、
0:04:32	下の真ん中ほどの表に示してございます通り地震規模をM7、こちらは、地震規模に幅があることも踏まえて、保守的にM7というふうに設定したのですが、
0:04:44	マグニチュード7に変更して、
0:04:47	以降継続時間経時的变化を修正、変更してございます。
0:04:54	14 ページが、地震規模7に変えて作成し直した模擬地震は、
0:05:02	です。
0:05:03	15 ページ目が、その作成した模擬地震はの応答スペクトルと応答スペクトル比ということで、J E A Gの適合度を満たしていることを確認をしています。
0:05:14	17 ページをお開きください。
0:05:19	こちらは、伊方発電所とその周辺における観測記録の収集の概要ということで、
0:05:25	実観測記録の位相を用いた模擬地震検討にあたって伊方発電所等池田泉州周辺における乾燥記録の収集を行い、
0:05:35	模擬地震や作成に用いることが監査、いろんな観測記録の有無について確認をしたということの概要を示しております。
0:05:42	その結果、伊方発電所においては実観測記録の位相を用いた模擬地震の検討に用いることが可能な観測記録は見つかりませんでしたということで、
0:05:51	当監査記録の収集の詳細については補足説明資料に、すべて載せております。
0:05:59	19 ページをお願いします。
0:06:03	こちらが基準地震動S s 3-3の模擬地震はとして乱数位相を用いた模擬地震はを採用しますと。
0:06:10	いうことを記載したページです。
0:06:12	上の文章は基本的に、冒頭の検討概要で述べたところと同じですので割愛しますが伊方発電所の解放基盤表面の状況を踏まえて、檀水槽を用いた模擬はを採用しているということでございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:27	本体資料は、1 資料 1-1 は以上になりまして、補足説明資料をお開きください。
0:06:38	補足説明資料の 1 ページをお願いします。
0:06:45	こちらは目次になります。
0:06:47	1 照覧水槽を用いた模擬地震派の新保黒瀬に関する検討というのは、こちらの大東に基づいて設定した新保後楽園が保守的であることを説明した資料で、
0:06:58	構成としては、1 月 14 日、第 2 回の会合でご説明したものと同様になります。
0:07:04	ただし、その際、先ほどご説明しました通り、
0:07:09	新保小浦線の諸元を地震規模 M7 に変更しておりますので、中身としては、もともとマグニチュード 6.9 で作成していたものを、マグニチュード 7 に変更して、
0:07:19	資料は、な見直しております。
0:07:22	また 2 章は、観測記録の収集整理の詳細でございまして、9 月 10 日第 1 回目の会合資料と、1 月 14 日の会合資料をこちらもほぼ再掲したのになります。
0:07:35	その上で、参考資料の④ということで、2 章では観測記録として適切なものが見つかりませんでしたので参考検討の位置付けとして、
0:07:46	佐藤岡崎 2013 の模擬地震はについてこちらに
0:07:51	格下げというか資料を落とし込んでおります。
0:07:54	修正箇所をちょっと必要な範囲で具体的にご紹介しようと思っておりますので、3 ページをお開きください。
0:08:04	こちら、まず L A N 水槽を用いた模擬地震はの不振黒線に関する検討ということで変わったところは、上の文章ですが、
0:08:12	設定条件が M7、X e q 10 キロの保守性について検討をしています。
0:08:18	5 ページをお開きください。
0:08:23	こちらも内容としては、ほぼというか、全く一緒なんですけど
0:08:28	既往の知見として地震規模が
0:08:30	竹村 1998 に照らせば、保守的ですよということでもともとマグニチュード 6.9 の地震規模を設定していることが適切だということで最後に、文章の最後には書いてましたがこちらが M7 人、
0:08:41	A と変わっています。
0:08:43	ちょっと飛びまして 15 ページをお開きください。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:51	ところ、15 ページからは地震動の継続時間に関する経験式ということで、例えば15 ページ弱を先ということで小浦種の、
0:09:01	継続時、経験式をこの後並べていますがこれも、下の表に書かれている通り地震規模M7にして、もう一度比較をしているということで、構成自体は変わっておりません。
0:09:14	20、
0:09:16	21 ページをお開きください。
0:09:21	で、地震規模Mこちらと同じです、地震規模M7 の場合の共振分の継続時間に関する知見を比較しましたということで野田有賀。
0:09:30	継続時間が長めであるという結論は、特に変わっていません。
0:09:36	27 ページをお願いします。
0:09:41	こちらは、実観測記録の継続時間と、野田Head R - 新保五、六千を比較したものです。こちらもマグニチュード7 X e q 10 キロで図を作り直しているだけで結論自体は特に変わってございません。
0:09:55	29 ページをお願いします。
0:09:59	こちらも、こちら1章のまとめですがこの内容としては変わっていませんM6.9がM7というふうに変っただけです。
0:10:08	30 ページをお願いします。
0:10:11	その上で一応参考といたしましてもともと申請時には、地震規模M6.9 X e q 10 キロから設定しておりましたが、この度、コメント、
0:10:21	等を踏まえまして、マグニチュード7 X e q 10 キロに変更しましたが、
0:10:26	その結果としては、全継続時間であったり供試分の継続時間が保守的になって継続時間長くなると。
0:10:33	ということが確認できるという資料を掲載しております。
0:10:38	32 ページをお願いします。
0:10:43	先ほどまでが1章の説明です。次に2章になりますが、こちらも2章の検討の概要といたしまして、
0:10:50	伊方発電所と伊方発電所周辺における監査記録の収集を行ったその結果、その収集の内容について、
0:10:58	記載をしているところで、
0:11:00	検討の概要ということで、①②③とあります。
0:11:04	都丸一井は、伊方発電所の乾燥記録の収集整理ということでこちらは9月10日の会合資料を、ほぼそのまま再掲したものの。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:13	2章、ごめんなさい②番③番が、1月14日、伊方発電所周辺での観測記録の収集整理の内容ということで、1月14日第2回の会合資料を、ほとんど再掲したものになります。
0:11:26	これらも先ほどお話ししましたように会合資料を一つの章にまとめたということでちょっとその施設の番号の変更とかあとは言葉遣いの変更というのが、
0:11:36	やや修正はありますが、変更後はこうこうというのがほとんど同じで、
0:11:42	ほとんど唯一と言っていい、修正が61ページになります。
0:11:51	こちら何か内容が変わってるわけではございませんが、観測記録、下に並べておりますがこれと、
0:11:59	比較するのだRの申告包絡線、これがもともとM6.9で作成していたものをM7に変更したということで結論に何か変わった結論が何か変わるものではございません。
0:12:11	87ページをお願いします。
0:12:18	こちらは二つ目のコメントに対応するものですが、佐藤岡崎2013の模擬自販というのはあくまでも参考程度の検討ということで、
0:12:28	一番上のマル。
0:12:29	です。
0:12:30	伊方発電所においては観測位相を用いた模擬地震は作成に用いる適切な観測記録が見つからなかったことから、参考検討として、観測記録の回帰分析に基づく、
0:12:40	云々かんぬんということで、3項、
0:12:43	検討の位置付けとしてこちらに資料を載せております。
0:12:48	90ページをお願いします。
0:12:52	一応この後、作成した模擬地震はおらん水槽は、と比較をしておりますが、こちらがもともとM6.9と比較していたものを、
0:13:03	今回作成し直したM7-8Kに変えていこう比較を行っているということで、衛藤サトウ岡崎の模擬地震は自体は特に変わっておりません。
0:13:15	はい。資料1-11-2の説明は以上になります。
0:13:23	資料には、1枚しかないなので、一緒に説明しちゃっていただいてよろしいですか。
0:13:29	わかりました。説明者変わります。
0:13:46	四国電力の大野です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:50	それでは、続きまして、資料 2、伊方発電所 3 号炉、震源を特定せず策定する地震動標準応答スペクトルを踏まえた、
0:13:59	基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価、今後のスケジュール案につきまして説明させていただきます。
0:14:06	次のページをお願いします。
0:14:10	地盤安定性評価につきましては、次回会合で、基準地震動が確定いたしましたら、速やかに解析に着手いたします。
0:14:19	また、特重施設につきましては、非公開非公開にて、実施する必要があることから、特重施設と特重以外の施設については、ヒアリングや審査会合を別々に行わせていただきたいと思います。
0:14:33	ですので、
0:14:34	解析評価のスケジュールとしては、特重以外の施設、
0:14:38	次いで特重施設と実施して参ります。
0:14:41	当社といたしましては、お示しいたしております通り、まずは特重以外の施設、つまり、
0:14:48	再稼働で審査いただいた D B、S A 施設及び乾式貯蔵施設を先行して実施していく予定です。
0:14:58	なお、
0:14:59	前回 1 月の審査会合ラップアップでご説明した工程間の補足を、本資料にも変遷箱書きで落とし込んでおります。
0:15:08	右上点線箱書きに記載しております通り、
0:15:11	審査課、再稼働審査の実績としましては、5 断面、18 層の解析評価に 11 ヶ月要しました。
0:15:20	この 11 ヶ月には、
0:15:22	解析を、要素分割図作成の期間は含まれておりません。
0:15:27	この実績を参考に、
0:15:29	特重以外の施設につきましては、縦断面 4 移送であることから、約 4 ヶ月、
0:15:34	特重施設につきましては、3 断面 4 移送であることから、約 2 ヶ月を要する予定です。
0:15:41	なお、弊社としては、解析をお願いする協力会社さんらの協力を見つづ、できる限りの工程短縮を図り、お示した工程より 1 日でも早くお示しできるよう、
0:15:52	努めて参ります。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:54	簡単ですが、資料2の説明は以上です。
0:15:58	はい。ご説明ありがとうございましたじゃ規制庁側から、確認したい事項があればですね、各自お願いします。
0:16:07	いいですか。
0:16:09	すいません原子力規制庁の三井ですけども、ちょっと確認ですけど、1の資料の、
0:16:16	1-1の方の11ページなんですけど、
0:16:21	こちら要するに模擬地震はの作成は欄水槽と実美術館記録のやつがあって、
0:16:30	二つ目の丸では
0:16:34	解放基盤表面、
0:16:37	と地震基盤表面が同じだから、電波特性は影響の考慮は必要ありませんという話をしている、
0:16:44	M、三つ目の丸で、
0:16:47	トラン水槽を用いても受診者は採用しますよって言うんですけども、ここです観測記録の有無について確認した上で書いてあるんですけど、
0:16:58	これって
0:17:00	仮に観測記録があっても、
0:17:03	その一つ上のマルで
0:17:06	電波特性の影響を考慮する必要がないので、
0:17:10	実感記録のやつは、
0:17:12	つかわあ、
0:17:14	N i n e。
0:17:15	んですよ。
0:17:16	ていう。
0:17:18	要するにからこの関数記録の有無について確認する意味が、
0:17:22	よくわからないんですけど、
0:17:25	あってもなくても、LAN水槽のほうを使うんですよ。
0:17:28	ていう確認なんですけど。
0:17:31	電力の高橋です。先週の
0:17:36	泊さんの審査会合のときにレジメが出されてその中で観測位相については、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:44	特異な状況があるかどうかというところを確認するっていうふうにかかれてたと思うのでし、もしあった場合はそういうところを確認した上で、必要であればそちらでしょうけどなければ、
0:17:56	乱水槽になるのかなというふうに考えております。
0:18:11	これはその泊の
0:18:14	例を踏まえて記載したっていうことで、とりあえず理解しましたはいわかりました。ありがとうございます。
0:18:46	すいません四国電力あ、あ、ごめんなさい。どうぞ。
0:18:52	すいませんすいません。終わってはいつて申し上げ四国電力の塩田です。
0:18:57	筆者前回の、これラップアップか何かだったと思いますけど、コメントをいただいてその上で次回の会合、ごめんなさい次回のこの資料をどういうふうに作成するかっていう中で、
0:19:12	規制庁さんの方、
0:19:15	どうしても念のため記録についても確認した上で、というようなお話がちょっとあったかと存じております。
0:19:22	ですので我々としても、基本的にはこの二つ目の丸の通り、地震基盤表相当面と解放基盤表面の伝播特性の影響を考慮する人がないということで、
0:19:33	乱數位相を用いた模擬は、が主だというふうには考えておりますけれども、ちょっとその、先ほど高橋から申したことであったり、あとは前回のラップアップでの、
0:19:43	お話というのを踏まえると、ちょっと念のため確認しましたという資料は、
0:19:48	残しておくべき。
0:19:51	かなというふうに考えて、資料としてこういうふうにとちょっと作っていたというのが実情です。ちょっと補足をいたします。
0:19:59	以上です。
0:20:03	はい規制庁の岩田ですありがとうございます。先ほどコメントがあった11 ページのところですね。順番なんですけど、つまり、本来は二つやりますよ。1 個なかったんだけど他にやる必要がありますかというところで二つ目の丸に書いてあるように泊じゃないすみません伊方については、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:18	これこれこういう条件が整っているのですさらに別の方法でやる必要がないので乱水槽の結果を採用しますということの方は綺麗かもしれないですねこれが基準の問題だけなんですけれども、
0:20:32	四国電力の塩田です。
0:20:35	ということは結局、以上を踏まえ、ということでちゅ
0:20:40	S s の模擬はというのは乱数を用いた模擬地震を採用へとしますということ。
0:20:46	もしこの概要としては、終わっ終わりというかそれが結論ですとしておいた上で、観測記録くうの有無についても念のため確認したってというのはある意味何ていうかな、補足説明資料だけに登場するような、
0:21:01	方が、流れとしてはもしかしたらすっきりするのかなというふうに、ちょっとお話を聞き、お伺いして思ったんですが、いかがでしょうか。今申し上げたように、どっちを主にするかですよね。まずは
0:21:15	順番通りですね、複数の方法でやってみるということを順番にするのであれば、最後に、水片野サイトの特徴を踏まえれば、複数の方法についてはやる必要がなかったので、
0:21:27	L A N水槽を選択しますというような説明の仕方はぶりもありますし今おっしゃったみたいにですね、そもそも今の順番でいくと二つ目ですね、そもそも要らないんだと。
0:21:36	1個でいいんだということであれば、もう、決定論的にね、L A N水槽の方が大きいかどうかというところの評価というのは本来は必要だと思うんですけども、そこを今見ていないので、補足の中で、
0:21:48	結局同じぐらいのレベル感ですよというのを確認した上でこっち押しにしますということになるのか、そこはその説明の仕方だと思うんですよ。
0:21:57	どっちを選択されますかってことだと思うんですが、
0:22:17	すいません規制庁の永井ですけど、関連すると思うんで私がこの後聞こうと思っていたところを言いますけども、
0:22:23	資料でいうと 10 本資料の 17 ページ。
0:22:31	一応ここ本資料に入っているので、この本資料の 17 ページ相当を、
0:22:36	申請書の添付 6 にどこまで書くんですかっていうことを聞こうと思ってたんですけども、ちょうどこれも今の議論関連するので今、
0:22:43	こちらからコメントとして投げかけさせていただきます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:52	四国電力の塩田です。我々の今持っているイメージとしては、添付6の記載としては今永井さんからおっしゃった17ページというのは具体的には記載はせずあくまで審査の中で確認したということで、
0:23:05	審査し、申請資料としては、伊方発電所の基盤表面を踏まえて、
0:23:10	L A N水素を採用しますということのみ記載するのかなと考えています。
0:23:15	以上です。
0:23:20	規制庁の方でそうすると、2番目というか後者のやり方を選定するというのを、
0:23:26	何ですかね、むしろ私のイメージは逆というか一番の方なのかなと思っていましたけれども、御社ねそもそも、当初の主張というか説明ぶりというようなガイドには複数のやり方を
0:23:38	やんなきゃいけないんで別のやり方を探してきましたよという申請内容になっていましたと。従って私としてはですね二つのやり方というのはL A N水素をやった上で観測記録について一応探しました、なかったんだけれどもいい方の特徴を踏まえレバラン水槽だけやったらいいでしょうっていう結論の方がですね、何となくすっきりするんですけどね。
0:24:02	四国電力のシオタです。承知しました複数の方法というのがガイドに書かれているということでそれを踏まえて、観測記録についても確認したと、というようなことがわかる。
0:24:15	ように、
0:24:16	紀子公社ではなくというか、全社というかな、の方の、
0:24:21	記載ぶり。
0:24:23	とあと資料の構成で
0:24:28	次の会合というか資料に、
0:24:30	を作る作成したいと思います。
0:24:32	以上です。
0:24:33	はい。わかりました
0:24:37	その方向で説明した方がですね、素直というか非常にわかりやすいんじゃないかと思いますので、そしたら少し、先ほどの11ページでしたっけね。順番変えるなりですね、少し工夫していただいて、会合で説明をお願いします。
0:24:52	四国電力塩田です。承知しました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:57	すいません引き続き永井の方から資料説明にあたってですね、1ヶ所これがあつた方が適正にわかるという点と、
0:25:06	等、
0:25:07	元データを考えてちょっと直していただきたいというのが1ヶ所でお願ひがあります。まずあつたほうがいいというのは、
0:25:15	15ページ本資料の、
0:25:21	下のグラフの方で、応答スペクトルの一同、
0:25:25	あたりのところが補助線が何もないので、
0:25:28	わかりやすく図1の補助線入れていただけませんかでしょうかね。
0:25:35	四国電力シオタで生じました失礼しました市の横瀬がこう入つた方が、市に対してどうかつてのはわかりやすいということですね。
0:25:44	はい、承知しました。
0:25:46	はい、おっしゃる通りですであとおすいませんここで1点だけ御社の考え方確認させていただきたいんですけども、
0:25:51	0.85のかなり近い値とつてというのは、1秒を超えて長周期側にあるんですけども、ここは基準地震の策定の点を考えると、あまり重視しないという、
0:26:03	ような周期体という理解でよろしいですか。
0:26:10	四国電力の塩田です。基本的にはおっしゃる通りかなと思ひます短周期側というのを極力位置というか、そもそもとして、弱の適合度を一応、
0:26:21	杓子定規に0.85を満たしていれば、問題ないという上で、今永井さんがおっしゃつたように短周期側というのがやはりきちんとある程度、
0:26:30	合わせなきゃいけないと
0:26:33	ただ、全主体になかなか全部、1ぴったりつてというのはちょっと難しいところもあるので、短周期側の適合度というのを、
0:26:43	1に近いように、長周期側というのは、さほど、
0:26:47	その後の施設というか、影響評価、施設の評価には大きく影響しないだろうというふうに考へてはいますただ、
0:26:54	何ていうかな。
0:26:56	だからて、1周期1秒以降、さっき下げようかつていう意図があつてこういうふうになつてるわけではございません。はい。ごめん。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:06	はいなかった。今、今聞いてた時に資料で言うと8ページにあるようにS s機能は長周期がかなり上回ってるので、ここでどうしようが、トータルの評価を考えればS s 1の評価が厳しいんだから、
0:27:18	という意味で聞いてみたところですので、
0:27:21	そういうがった見方するわけではなくてですね、重要視されるのはやはり、そのS s 1を超える単式の延長クローバーなのかなというふうな意味合いで聞いたところですよ。
0:27:34	四国電力の塩田です。はい。
0:27:36	趣旨理解しましたので、S s 1の方がおっしゃる通り、長周期側も優位に大きいので、実質的な影響はないと考えています。
0:27:44	以上です。
0:27:46	はい。あともう1ヶ所ちょっとすみません細かくて申し訳ないんですけども、補足のほうの58ページ。
0:27:57	の、真ん中の方には、気象庁カタログで青柳S引いてある方の、
0:28:02	真ん中より後半のところっていうのこれ
0:28:07	多分ずれてると思うので、桁合わせしてもらってもよろしいですか。私予測としては571という数字、間が空白あって5団地浮いている数字のところ、
0:28:18	多分、植野剛一と並ぶのが正しいフォーマットかなと思ってこうやって、フォーマットこれ決められているので、多分数字の場所にすごく意味があるんで、
0:28:28	できれば適正化をお願いしたいんですけども、というか適正化部が元に戻すといった形らしいんですかね。
0:28:34	よろしいですかね。お願いして、
0:28:37	四国電力のシオタで承知しました多分、
0:28:42	ワードなんていうか、テキストファイルみたいなのを開いたもののそのままなんですけど多分的、気楽テキストファイルがちょっとよくなかったというかもしかしたら、そのナガイさんがおっしゃるように、
0:28:52	位置がちょっとずれて表記するようなものだったかもしれませんが確かにおっしゃる通り511と会うのが正しいと、ええと思いますので確認の上修正しておきます。
0:29:03	以上です。
0:29:04	よろしくお祈いします。これ、数字の1にすごく意味があるはずなので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:08	その点はすいません。よろしく申し上げます。私から以上です。
0:29:13	シオタで生じました理解しました。修正しておきます。
0:29:24	サトウですけど、
0:29:25	今のこの1の横線はこれ前回もなかったね。
0:29:30	前回言っておくべきだったかもしれません。
0:29:34	あと、
0:29:35	今回7にはしてるんだけど、X e qはこれ10キロでいってというのは、ちょっとその理由を教えて欲しいんですけどそこは変えなかったということなんですね。
0:29:48	ちなみに、
0:29:52	13ページですかね。
0:29:58	四国電力の塩田です。まず1点目ごめんなさい、1については確かに前回も書いてませんでした。0.85を超えてるとというのが弱の適合等判定なので、なかったんですけどあった方が、
0:30:11	より適切というのは皆、皆さんおっしゃる通りですね修正します。
0:30:15	AとX e qについては、※書きのところにも書いておりますが、敷地近傍半径10キロ以内の領域で発生する地震を想定した上で、
0:30:27	継続時間が永見になるようにということで前、
0:30:31	これまでの
0:30:32	規制庁さんとのやりとりと等を踏まえまして要するに10キロというマナが継続時間が長くなるようにこれより短い可能性もある中で、
0:30:43	長くなるようにという設定では、敷地は近傍敷地近傍の半径10キロ以内ぐらいが想定されるので、10キロという、
0:30:51	数値を設定していれば、
0:30:53	継続時間も長めに設定できるだろうということでX e qについては書いてございません。あと、
0:30:59	会合での、
0:31:02	コメントといたしますか、やりとりでも地震規模の話。
0:31:06	がメインだということと、あとは等価震源距離自体はそもそも、継続時間の後続の部分にしか影響しないので耐震設計上も、
0:31:15	大きな影響はないだろうと。そういったことを踏まえまして前回と同じ、10キロという値で設定をしています。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:25	佐藤です。考え方をお聞きしただけで別にこれが良い悪いと言ってるわけではないので考え方だけ聞きたかったというのは、ちょっとそういう趣旨でした。
0:31:35	すいません私から以上です。
0:31:49	規制庁の大井ですけどちょっと、
0:31:51	素人的な質問で申し訳ないんですが、
0:31:55	ですね。
0:31:57	これ本編資料で、この前、
0:32:00	前回のM6.9から、
0:32:03	M7.02。
0:32:05	変更したことで申請時はM6.9だったわけですけど、
0:32:10	それで
0:32:13	継続時間は補足資料にはですね、どのように変わったのかっていうのは、
0:32:18	グラフとしてあるんですが本編にはないっていうのは
0:32:21	また事実でいいですね。本当に入れてないということです。
0:32:28	四国電力の塩田です。おっしゃる通りです。本体資料の方には、最終的に設定したマグニチュード7について記載をしておりますその方がどうか本体資料自体は、
0:32:40	全体の構成というか流れを考えて、地震規模としては保守的に7を設定しましたということが書かれて、
0:32:49	いれば本体資料としては十分というか殊、その方が流れが、
0:32:54	すっきりわかりやすいかなということで補足説明資料の方にそれは譲ったというのが資料の作成の考え方です。
0:33:03	はい。以上です。はい。ありがとうございます。ちなみに、ちょっと私、お聞きしたいんですけどいわゆる補足資料の30ページっていうのが継続時間の比較っていうことでいわゆる、前回の審査会合での、
0:33:15	コメントを、
0:33:17	に、
0:33:18	コメントこちらが言ってる事に当たることっていうことでよろしいですか。
0:33:23	四国電力は以上です。
0:33:27	その他はないですね。ごめんなさいこの30ページを見れば大体いいということよろしいですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:33	そうですね申請時のM6.9 との比較という意味ではこの 30 ページがすべてになります。
0:33:39	以上です。ございます。
0:33:40	ちょっと、あとこのもっと素人質問なんですけど、この継続時間が変わったことで、
0:33:48	何かこう、応答スペクトルっていう観点で何か変わるんどのぐらい、何が変わったんですか。
0:33:59	四国電力の塩田です。
0:34:02	ポートスペクトル自体は、標準応答スペクトル我々でいう基準地震動 S s -3-3 に合わせにいてますので、基本的にその応答スペクトルでの違いはないという認識で、
0:34:13	最終的に作成される継続時間の長さ
0:34:17	ですね、時間の長さが変わったということになります。失礼しました。わかりました。ありがとうございます。
0:34:23	私から以上です。
0:34:28	岩瀬サトウですけども、1 点だけちょっと補足で、
0:34:32	確かにさっき
0:34:34	先週の泊の審査会合での、
0:34:37	論点をもう残されている審査上の論点ということでね、観測記録の中で特異な一層の特徴が認められる場合には、
0:34:47	っていうちょっとこんな言い方をしてるんだけどこれちょっと別のグループだったんですけどどうちのグループではね、
0:34:55	これはなかなか何ていうかな、審査の地下構造の審査の時に、敷地へられた観測は系であるとかスペクトルとかちゃんと出していただいて、我々それ一応見てはいるので、
0:35:09	そんなおかしいのはその移送ないよねっていうのはないってことで、一応前提にしてるのでここはちょっとこんなふうな記載にはしなくてもよかったんじゃないかなみたいなことはちょっと内輪で話があったんですよ。
0:35:23	そんなものがあれば当然だから地下構造のところで審査のところで観測記録見ているわけだから、
0:35:29	わかるわけですよ。金なのでちょっとそこはあんまりその引っかけからない方がいいのかなっていう気がしましたね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:38	補足ですけど、以上です。何かコメントありますか。四国電力高橋です。了解。その趣旨了解しました。ありがとうございました。
0:36:03	すいません。規制庁仲村ですけども。
0:36:08	後で説明のあった紙、資料2の方ですね、今後のスケジュール案の方でちょっと確認させてもらいたいんですけども、
0:36:16	まず表の方ですね、2ページの表ですけど
0:36:21	60とそれ以外のところで、ヒアリングと会合をこう分けてっていうのは、こちらの方も理解できるんですけどこれ、
0:36:29	4月からヒアリング、資料の準備とかってというのが始まってますけどそれぞれは並行してっていうのは、
0:36:38	何か物理的にできないとかそういうことなんでしょうか。
0:36:42	まずそれを教えてもらえますか。
0:36:45	はい。四国電力のシモグチです。
0:36:49	今回工程表を特重以外と特重とで見直しましたと。基本的にはその6ヶ月というブランクが開くのがよろしくないというふうに考えまして4ヶ月目で、
0:36:59	特重以外を持ってくる。そんな時には、特重以外に、リソースを全部して、こういう形を、うん。ランドってます。従って、
0:37:08	並列ではなくて、どうしてもその直列。
0:37:11	特重以外でそのあとに特重と、
0:37:15	いうリソースの振り方を、
0:37:17	していますとせざるをえないということでございます。
0:37:20	以上です。
0:37:22	すいません。それは要するに、マンパワーとかそういうことを言われているんですか。
0:37:29	ちょっと意味が、直接的じゃなくてわかりづらかったんですけど。
0:37:37	はい、四国電力シモグチです。マンパワーの話を見せてもらったつもりです今あるマンパワーを。
0:37:44	特重以外に振って4ヶ月でそのあと特重に振って2ヶ月、
0:37:50	直列で割り当てることを想定しております。
0:37:54	以上です。わかりました。要するに、人の手の数とかそういうところを考えると、
0:38:01	6ヶ月待つまでは必要ないけども、
0:38:05	何とか4ヶ月と2ヶ月で分けて、並行しながら、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:09	ていうので、読んだ予算は幾らか短縮できるかなと思ってるっていうことですね。
0:38:15	では、それが話としては理解したのと、あとちょっと確認したいのが、
0:38:23	多分特重は3断面っていうのは理解するんですけどこの特重以外のところで今縦断面って書いてますけど、
0:38:31	これはラップしてるようなものっていうのはないんですか、本当にこれ中ですかすみませんちょっと私もそこまで確認できてなかったんですけども。
0:38:40	例えば前の、ガスタービンとか、そういうのも入れてるとかっていうことですかね。ガスタービンとかってこう。
0:38:49	原子炉とかその辺で代表されるとか何かそういう話とかもあったと思うんですけども。
0:38:55	そういうのも含めて、要するに、
0:38:57	代表させるとかラップしてるような、もうなくして縦断面ということですか。
0:39:04	はい。四国電力シモグチです。ラップしてるのがなくて、縦断面ということですが。ガスタービンとかは当然解析対象断面には含んでいないので、カウントせずに、それでも縦断面と、
0:39:16	ということでございます。
0:39:18	以上です。
0:39:20	はい、わかりました。
0:39:22	とりあえず私からは以上です
0:39:36	はい規制庁岩田ですけど大体こちらから確認したいことはですね以上のようなんですけど先ほどから幾つかあったですね、いわゆるコメントの一つ目なんですけれども、
0:39:47	今の1ページ見ていただくと保守的な評価の観点からと書いてあるんですけどこれ単純にねMWから7にして、その継続時間を考えるときの一つのパラメータとしたら
0:39:59	何すべきじゃないかっていうような趣旨で申し上げたので何となくですね、この7と6.9を比較して何が大きいからっていうことを求めていることではないというのはもう皆さん重々承知だと思いますけれども、
0:40:10	一応書き方としてね、保守的っていうのは何に対して保守的なのかっていうのは、これは前回のコメントなので、あまり我々も細かく説明しな

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ったかもしれませんがけれども趣旨はそういうことだということを認識していただければと思いますがこの点はよろしいですね。
0:40:37	電力の塩田です。趣旨、趣旨は重々承知しています。その上で、コメント内容として例えば
0:40:46	継続時間が永見になるよとかっていう、言葉をつけ足したりした方がよろしいですかね。
0:40:55	イワタですこのままでいいですけども趣旨としてきちんと理解していただければそれでいいの、いいんだと思うんですが、最後ね資料としてまとめ資料を作る時にはもうちょっと正確にですね、
0:41:08	文字は、地震はを作る時のその主要動の継続時間に関連したそのパラメータになるので、保守的な観点から7を使いましたとかっていうふうにな、ちゃんと書いていただいた方が本当はいいかもしれないですね。
0:41:20	これも
0:41:21	各社ってというかですね、他のプラントもそうですけれども、いや7に対して6.9が大きい小さいみたいなそういう話ではないということが前提でこれ議論したということになってます。
0:41:31	あと先ほども質疑がありましたけれども後続版についてはですね、X e q 変えても、どうせ高度化なんだからということでそこはあまり議論にはしなかったというその両者の関係を考えればですね、なぜ使用度の方だけ
0:41:44	この換算をした時に四捨五入で大きく切り上げたようなですね数字を使うべきだったのかということは、ご理解いただけるんじゃないかなと思います。以上です。
0:42:03	これ、承認後で承知しました。ごめんなさい。繰り返しになります趣旨は我々も十分理解しているつもりです。ですので、コメント内容はひとまずこのままとして
0:42:15	まとめ資料とかでもきっと直す機会があると思うので今回このたび、13ページ、
0:42:22	この資料1-1の13ページのところで、
0:42:27	地震規模の設定の根拠ということで6.9から7にっていうところがありますんでここにちょっと継続時間が永見になる。
0:42:36	ようというようなことはちょっと
0:42:38	こちらの方に追加をした上で次回の会合にはちょっとお持ちしようと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:43	はい。湯田です。了解しました。13 ページの方の米印のところを少し丁寧に書いていただくということですね。はい、了解しました。
0:42:51	あと私の方からも一つスケジュールの関係先ほども質問がありましたけど
0:42:57	もともとの5断面掛け18というのがどういう、
0:43:01	形になると、縦断面4と3段目になるのかというのはすみません、すっかりと私は理解できなかったんですけどもいずれにしろ、並列でやるのではなくて直列にまずはS A D Bを先に片付けた上で、特重をやると。
0:43:15	これ私の理解としてあれですかね、まずはD B S Aのチームと特重のチームはそもそも違うので、プラント側でね、どこまで設計方針、書き換えるかとかける必要ないのかもしれないけれども、
0:43:28	審査に移行することには必ずなるはずなので、そこで対応者が違うので分けてシーケンスにやりましたよとそういう理解でいいんですかね。
0:43:39	四国電力シモグチです。
0:43:41	チームが違うというのは地震津波チームの中でも、見ていただけるチームが違うのでしたっけ。いや、地震津波は一緒です。ただプラント側の審査にどこまで、
0:43:53	何て言うかね、以降、どっちを先にやるかということになるんだと思うんですね。向こうは違うので、
0:44:00	プラントがあつての綺麗も含めたそのせ耐震基本方針というか基本方針全体の話ですね、そういうことです。
0:44:08	多分、プラント側の審査者が違うということになるのでこの時点で分けておいた方がと。
0:44:15	いうことを、
0:44:17	もありますし、そもそも、ヒアリングのなんていうんですかお作法自体が違うとお聞きしております。どっちにしても分けざるをえないのであれば、分けて、前者後方で早めに4ヶ月目でお渡しした方が、
0:44:30	リティかなという観点もあります。見てんですね。はい。以上です。はい。
0:44:35	何ていうかね結論から言うとですね皆さんこのD Bと特重と分けて申請してきていないので、いずれもその3年間で許可は終わらせなければいけないんですね、そこのタイミングは結局同じなんですよお尻は、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:48	なので、あえてそのDBを先にやってヒアリングと審査会合、そのあとに、特重やってヒアリングと審査会合みたいですね、やったとしても、結論は、
0:44:58	教え一緒なわけですよ。なので、並列にしておいてどっかでね、例えば極端な話ですよ。午前中じゃ特重を非公開でやって今後公開でDBSAやりましょうというやり方もあるわけですよ。
0:45:11	なのでおしりをそろえるやり方にするのか
0:45:15	なんて言うかね、SADBを早めに、
0:45:18	次、地震津波関係の審査を終わらすことに何か意味があるんだったら、この
0:45:23	戦略というのはですね正しいんだと思うんですね。なので私冒頭聞いたのは少なくとも耐震、すいません、基本設計方針についての審査ってのはないわけではないので、
0:45:34	ご存知の通り、特徴はBチームがやってるし、
0:45:39	SDが違うチームがやってるんですね、そこで早めに話を持っていければ、そプラント側も含めればですね少し効率的になるのかもしれないけれども、そういう観点も含めてこういう線引きをしてるんだたら、
0:45:51	戦略としてはわかりますということなんですけどね。
0:45:56	東北電力原子力部の盛田と申します。
0:46:00	プラント班の、
0:46:02	人が住んでるから、BBS味、今の地盤の評価のDBSAと特重をあまり分けたいという意図はない。
0:46:10	と思ってましてプラント班については地震動が決まってから、審査ということ、ちょっと面談の中でもお話されてましたので、この後、会合に行って、
0:46:24	地震動が決まるっていうことになれば正式に審査をお願いしますというのをこれから行こうと思ってるところです。
0:46:32	なので地盤が、
0:46:34	当評価を待ってプラント班に行くことはなく、地震動が決まればプラント班の方に、審査をしてくださいというお願いをしに行くつもりです。以上です。
0:46:45	わかりましたそういうことであれば、わかりましたもう4月に今回その審査会合をいつできるかというのは、とりあえず後でちょっとまたお話

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	をしますが、いずれもこの段階でもプラントはSDがいいチームがやっています、
0:46:59	特重はBチームがやっていますけれども、それぞれにもう審査を開始してくださいというお願いが行って、基本設計方針についてはパラレルでやって最後、この
0:47:10	地盤安定性が終わらないと最後の許可のプロセスに入れないとそういう理解でよろしいですね。
0:47:18	はい。四国電力シモグチですプラント側の審査も、地盤安定性評価の審査も猶予期間までに終わらないと、許可をいただけない、そういう理解しております。はい。
0:47:29	はい。わかりましたそうすると、あまり
0:47:33	特重とDSAを分ける理屈はあまりなくて、もう単にとりあえず取っ掛かり、
0:47:42	順番にやっていきましょうとその程度ちゅう話ですね。
0:47:45	そういうことになりますね前回は正直6ヶ月丸々かかって、全部終わってからお出ししますという話をラップアップのときに確か差し上げたんですけど、
0:47:54	そうなってくるとさすがにちょっと6ヶ月ってあき過ぎ、
0:47:57	じゃないかという話もあったので、わかりました。はい、じゃあ、6ヶ月間二つに分けていただいて早めにできれば早目に済ましておきましょうというそういう戦略ですということで理解しました
0:48:07	はい。お気遣いいただきましてありがとうございます。
0:48:11	他にありますか。
0:48:13	いいですか。
0:48:18	はい。資料の8については以上にしますが、
0:48:24	あ、すみません、規制庁の仲村ですけど、1点だけさっきの地震のところで資料について教えてもらいたいですけども、資料1-1で、
0:48:34	14ページですね。
0:48:38	今回のその手技資料のところで、模擬地震版の作成結果っていうのでグラフとかが入ってるんですけどすみません、確認ですけど、これって、前、
0:48:49	1回までの資料には入ってましたか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:52	でな、前回ついてないような感じなんですけど、何でこ前回なくて今回つけたのかなとか、なんでついてなかったのかなっていうところでちょっと教えてもらいたいですけどそれだけです。
0:49:11	四国電力の正田です。10、14 ページですね模擬地震はと、あとその適合度の確認。
0:49:19	ものですかね。松井。
0:49:22	第 1 回の会合資料にはつけてたと認識しています。
0:49:27	9 月ですね 9 月 10 日の会合ですね。はい。そういうことですか。
0:49:32	1 回目のときについてた。
0:49:34	ということで、あ、そうです。1 回ね、2 回目の介護ごめんなそうですね右方に令和 3 に 9 月 10 日というふうを書いてまして 1 回目の会合のときは欄水槽の
0:49:48	模擬地震は、の作成結果をお見せしたところ、コメントとしてその継続時間の保守性の話と、
0:49:56	当観測記録の収集周辺の監査記録の確認というコメントをいただいたので、2 回目の会合はそれにある特化した内容にしてたので、
0:50:05	この 14 ページはなかったんですけど、1 回目の会合 9 月 10 日の時には出していたので、それは改めてこのたび、もちろん波は変わってますけど、お出ししたということです。はい、わかりましたすみませんありがとう。
0:50:17	そういう理解できましたんで、ありがとうございます。
0:50:26	規制庁長井ですけども今回の資料外のことになりますけども、すでにご承知かとは思いますが、日向灘の長期評価の改訂版、
0:50:35	出てると思いますが、こちらについて今何らか確認をしている状況か否かというのを教えていただけますか。
0:50:43	はい。四国電力の井坂です。3 月 25 日に公表された地震本部の日向灘の長期評価第二版につきましては、内容を確認いたしました。
0:50:52	目新しいトピックとしましては、敷地からちょっと南方離れたところなんですけど日向灘の領域に M8 というのが新たに、
0:51:02	想定されているんですけど、伊方の方では、内閣府の M9 の巨大地震、南海トラフの巨大地震を想定しておりまして、その中で、日向灘の領域に M8 以上の地震規模、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:16	置いて評価しておりますので、問題ないというふうに見ております。この点につきましては安全性向上評価の中で、資料を提出したいと考えております。以上です。
0:51:29	はい。ナガイず語彙、確認しているということ 1 項については確認させていただきました。
0:51:37	規制庁の岩田です長期評価の扱いについてはですねご存知かもしれませんがけれども今後の今もう公開してると思いますがけれども、何でしたっけね。
0:51:48	何。
0:51:51	技術情報検討会でですね議論した上で必要があればですね、地震津波部会、さらには、規制委員会ということで本件どう扱いにするかっていうことをですね、規制委員会としては決めるプロセスがもうすでに決まっているので、
0:52:04	その中でどういうふうになるかということもあろうかと思えますけれども、基本はね、F S A R で問題なかったことを確認していくという姿勢は我々も同じだと思ってますけれども、
0:52:16	とはいえ、今すでに変更許可申請が出てるのでそういった中でもですね少し説明するというのもあろうかと思えますので、その辺りの対応についてはですね、今後少し、
0:52:26	技術情報検討会なんかのですね進捗も踏まえてですね、ご相談をさせていただければと思っておりますがいかがですか。
0:52:34	はい、承知しました。我々としては、その技術情報検討会の方も注視して、その動向に応じて適切に対応して参ります。よろしく願いいたします。
0:52:44	四国電力の井坂でした。
0:52:46	はいという形ですありがとうございます。
0:52:48	他にありますか。
0:52:52	はい規制庁の方からは以上のようなんですが、四国電力から何か確認したい事項とかありますか。
0:53:01	四国電力高橋です。特にありません。
0:53:04	はい。ですねあとこれも審査会合にかけてどんどん進めたいと思ってるんですが、今ですね、若干調整はしていますが 4 月の 15 日の午前中にもしできればですね、かけたいと思っ
0:53:19	てるんですが、ご都合の方はいかがですか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:41	四国電力高橋です。その日程で問題ないです。
0:53:45	はい、わかりましたじゃそのつもりで考えておいていただいた後はちょっと事務的にフィックスしたら決めるようにいたします。あと今回の資料のご説明なんですけど大体時間的にはどのぐらい必要でしょうか。
0:53:56	15分ぐらいですか。
0:53:59	そうですね。両方合わせて15分ぐらいではいけると思います。はい、わかりましたじゃ1度に連続でご説明していただいて構いませんので15分ということで考えておきます。よろしく願いいたします。
0:54:11	事務連絡ほかになれば以上にしますが、よろしいですか。
0:54:17	はい。本日のヒアリングは以上にしたいと思います。お疲れ様でしたありがとうございます。
0:54:23	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。